

第57回連絡協議会／合同協議会 議事録 (豊洲5丁目連絡協議会・豊洲5丁目地区開発協議会)		承認	検印	起票 110415 小山
日時	平成23年4月2日(土曜日)14:00～16:30 メトロ第2豊洲集会室			
出席	<江東区土木部> 田中係長、富樫係長、清田主任、川野主事 <豊洲新病院関係> 昭和大学荻原事務長、大成建設(株)齊藤部長、青木所長 <豊洲5丁目地区開発協議会> 町井、佐藤、仲本、関口、小野 <豊洲5丁目連絡協議会> メトロコープ第1豊洲：飯田理事長、細見副理事長、小山 メトロコープ第2豊洲：荒井理事長、釜谷副理事長、手塚、根本 オーベルグランディオ：寺川顧問 グランアルト：前橋理事長、牧副理事長、シエルタワー：田中マネージャー、渡辺 <傍聴> 石原(ブリッサ編集局)、和久井(都営) (計26名)	記録	小山 ※本議事録は関係の皆様の校正を頂いております。	
議題	1 地域活動関係 2 町会化／自治会化の検討 3 活動報告、その他			
資料	「道路等に係る地元要望について」「(仮称)昭和大学新豊洲病院新築工事」「豊洲5丁目プロジェクト新築工事に伴う関連除却工事着工のお知らせ」「豊洲グリーン・エコアイランド構想の策定について」「地域振興課よりのアドバイス要約」「2010年度豊洲5丁目連絡協議会活動報告」「2010年度豊洲5丁目連絡協議会活動報告2010年度豊洲5丁目連絡協議会会計報告書」			

議題1. 地域活動関係

(1) 江東区土木部工事運用体制の説明、及び住民要望への対応について

江東区土木部より首題に関して進捗状況等以下の説明が行われた。

- ・この度の震災によって準備が難航しているが4月には工事連絡協議会を立ち上げ、次回の合同協議会には設立報告をしたい。
- ・資料にまとめたような地元要望を尊重し、事後対応ではなく事前対応の姿勢で地元負担の軽減策を進めていく。
- ・7月から無電化(電線の地中化工事)を開始する予定。本工事に欠かせない東電が大きなダメージを受けているが、新病院や小学校建設にも影響があるので予定通りに進めていく。
- ・清田、阿部が異動。代わりに川野、富樫、橋爪が赴任する。新たな体制でこれまでの活動を継続していく。清田、阿部の異動先も極めて近い事業を担当するので、今後とも必要時、情報交換を行っていく。

(2) 豊洲新病院建物工事業者挨拶、他

昭和大学より豊洲新病院建物工事業者の紹介と今後の予定の概略説明、及び若干の質疑応答が行われた。

【説明概略】

- ・ 施工者：大成建設（株）、作業所長は青木。
- ・ 近々の予定：5月下旬に法定工事説明会、6月中旬に地鎮祭及び工事開始
- ・ 工事説明会の前に本連絡協議会に説明を行う。

【質疑応答】

- ・ これまで住民から色々な要望を出したがまだ回答がない。どうなっているのか？
→ まだ答えが出せる段階ではないものもある。次回に状況を報告する。
- ・ 今回の震災のように停電が生じた場合の対応は？
→ 診療に必要な電力については、非常用発電機により3日間の電源を備えている。
- ・ 防潮堤の撤去時期は？
→ 海側の新しい防潮堤建設後となる。
- ・ 津波の対策は？
→ 防潮堤の高さ 6.5mは、東京湾北部の直下型地震発生に対応出来ると聞いている。このところ想定外のことが続いているが、現時点では 6.5mを規準とする以外に対応しようがない。
- ・ このところ想定外のことが続いているが？
→ 回答は難しい。

【結果】

本協議会の次回開催日を法定説明会の前とし、事前説明が受けられるようにする。

(3) 東電不動産準備工事の説明(開発協議会事務局説明代行)

本来、東電不動産と清水建設が説明を行うところだが、震災影響等のため開発協議会事務局が代行説明を行った。従前の工事と特に変更がないため了解とした。

- ・ 本工事は7月まで。
- ・ 氏本氏が工事長に着任。連絡先を確認。

(4) 「豊洲グリーン・エコアイランド構想」の策定について

小山より江東区まちづくり推進課からの情報として報告。東電堀周辺や6丁目の開発のランドビジョンとなる。6月には正式公表の予定。以下、概略

- ・ ヒートアイランド/温暖化対策、豊洲新市場をはじめとした豊洲埠頭開発に対応し、豊洲埠頭の新たなイメージを確立する。
- ・ 対象地域は5丁目の一部（東電堀周辺）、6丁目。
- ・ 昨年参加した都市計画マスタープランワークショップで提言した内容がほとんど含まれている。

(5) 地震被害状況の確認と今後の対策

この度の大震災により、5丁目地区でどのような被害や問題が生じたかをそれぞれのマンションごとに紹介があった。

- ・ Aマンション

エレベータ脇のガラスが9枚ほど破損（老朽化によりパッキンが硬くなってしまったため？）／敷地内一部、若干の陥没／自営消防隊が全く機能しなかった。

- ・ B マンション
階段、窓枠等に多数のヒビ
- ・ C マンション
液状化多数発生。50cm も吹き出した／水門から水があふれる／駐車場でひびわれ／出水箇所不明な漏水あり（水道局からは指定の期限内に止水すれば使用料は免除）
- ・ D マンション
共有部分で若干のヒビ、高層階ほど少ない／各棟連結部分で剥離などのダメージ
- ・ E マンション
外壁タイル一部剥離脱落／出水箇所不明な漏水あり

【全体】

幸い人災はなく、共有部分についても比較的軽微な被害で済んだようだが、全体的に以下の問題を認識した。

- ① 防災無線について：建物に反響して全く聞こえない。また地域ごとに発生する問題が異なる。総括的な内容では全く無意味。水門決壊などは特定の区域で生じる。もっと小さなエリアに区切った情報と伝達システムが必要。
- ② 液状化箇所の補修について：敷地内は個々の管理組合で対応するしかない。行政が行えるのは業者紹介程度。
- ③ 保険について：通常総合保険では地震時の外壁剥離落下は対象にならない。地震特約をつける必要あり。
- ④ 災害時対応について：管理組合では普通自営消防隊が組織されているはずだが、実態は名目でしかないのでは無いか？震災当日、都営さんでは会長がヘルメットをかぶってスピーカで避難誘導をしていたが、隣り合わせのマンションでは全く動きがなく、奇妙な光景に映った。区域毎の行動が望ましいと思われる。

【結果】

まず①、④について江東区に相談することとした。

(6) NBF 入出庫時の接触事故について

3月29日に発生したNBF出庫時の車による接触事故について対応を協議した。

【状況】 <オーベル寺川顧問からの報告／要請>

- ・ NBF の入出庫については、急に出てくる車が多いので怖いと昨年末から苦情が出ていた
- ・ この旨、防災センター（管理員）に対処を要請しようとしていた矢先に事故発生。
- ・ 3月29日11：15、及び17：00頃、立て続けに、オーベルさん住民に対する出庫車の接触事故が発生した。
- ・ 幸い大きなケガもなく人身に影響は無かったが、早速この異常事を防災センターに伝え、嚴重な抗議を行ったところ、謝罪もなく誠意の感じられない文面の回答が来た。内容としては、警告音の検討、止まれの表示を検討している。とのこと。

- ・隣の東京ガスの施設では出庫時には警報ランプが明滅するなど、一般的な対応がとられているが、NBFでは全く行われていない。
- ・このような経緯や対応を鑑みると、NBFの管理会社は正しい業務を遂行しているとは思えない。現にNBF敷地内の不法駐車し放題。バイク便のバイクは敷地内でもかなりのスピード走行を確認。
- ・被害者住民の意向で警察には通報していないが、連絡協議会としての対応を検討していただきたい。

【結果】 <連絡協議会の見解、他>

- ・オーナーにまで本件の報告が上がっているかも疑問。関係者と相談して連絡協議会から開発協議会に公式な抗議文を提出するなどの対応を検討する。
- ・4月9日現在、開発協議会内で対応。対策案を早急にオーベルさんにご相談、及び会員各社への注意喚起を実施

議題2, 町会化／自治会化の検討

(1) 街づくり方法の検討

小山よりまちづくり推進課、地域振興課へ相談うかがいの報告、及び検討

- ・3/22、3/30の両日にわたり、前回提出の資料を持って相談訪問した。
- ・回答は今回提出のレポートのとおり、以前から弊害と感じていた自治会設立要件などは非常に小さく、また理屈的には自治会町会組織を持たなくても防災補助を受けられることが分かった。また住民コミュニティとしては、まさに現在の連絡協議会の活動そのものであると指摘を受けた。
- ・よって契約団体になるかどうかはさておいて、本協議会の組織化を進めることが重要と感じた。

【結果】: 協議会の組織化のために規約案の検討を再開することとした。また各管理組合ごとの自治会設立について検討することとした。

(2) 決算報告と次年度継続願い

小山より所定の活動報告書、及び会計報告書が提出され承認された。また合わせて寄付金の継続も承認された。

議題3, その他

- (1) 都民の意見を聴く会公述人申込: 締め切り間に合わず。
- (2) 東京湾大華火中止(中央区藤村氏より連絡)
- (3) 舟カフェ限定オープン

芝浦工大裏ポンツーンにて4月14日～28日まで実験オープン。ポスター掲示の協力をお願いします。

次回開催予定 : 5月 14日(土) 於: メトロコープ第一豊洲

以上